



平成21年2月

Vol. 10

発行／名田島自治会連合会
編集／自治会総務部会
印刷／株式会社山口県農協印刷



立春

名田島自治会連合会

会長 三輪 正明

「地域・元氣・人づくり」にむけて

名田島自治会連合会機関誌「田園」の発行にあたり一言申し上げます。
最近の地区を取り巻く情勢は、ご多分に洩れず、不況感が漂い、東国原宮崎県知事の言葉を借りる訳ではありませんが、「どげんかせんといかん」との思いが強く感じられます。

また、目を大きく外に転じれば「変革」「チェンジ」をスローガンに、米国、オバマ大統領が出現し、その手腕が問われております。日本の政治も地方を含め、大きな曲がり角にきているようです。

このような時に、自治会の運営も皆様のご理解、ご協力の中で、何とかこの一年間の活動ができ、その報告が次の通り出来ますことに對して本當に感謝申し上げます。

1 市道の路肩を管理するため、システムを構築致しました。

2 新山口駅周辺の開発計画区域の中で、名田島国道2号線以北、約80ヘクタールを開発すべき地域指定を受けました。

3 名田島小学校改築問題において、市教育委員会に對し、地元対策協議会を設立し、現在地元窓口として、活動しています。

4 山口国体、成年女子バレーボール会場の地元として、大分国体視察を行い、当面自治会対応で組織づくりを致しました。

5 地産地消対策の一環として、山口市の6次産業推進事業に参加、年末山口田園朝市フリーマーケットにも、後援をし、参加も致しました。

6 皆様との情報の共有が必要と考えまして、月一度の委員会を定例に開催し、その協議結果の内容を回覧でお知らせしました。

これからの課題として、山口市は新年度4月1日より、今までの公民館制度を改正し、新たに「地域交流センター」方式による地域コミュニティづくりを考えております。

これに對応するため現在、名田島地域づくり協議会設立準備会が、検討協議を重ねておられる様であり、この準備会の方向づけを待って、自治会連合会も規約等組織づくりも変わってまいります。本来の目的達成のための事業は変わりません。

これからの名田島地区の目指す方向性、課題を直視し、これにそれぞれの団体組織が積極的且つスピードをもって対処しなければなりません。

そのためには、地区住民の皆様の関心とご理解、ご協力が必要であります。お世話する人もされる人も「協働」の心をもって、名田島地区の元氣づくりのために、今一度地区のために「自分は何が出来るか」を考えてみたいものです。

部会・市の1年の歩み

民生部会

山口園朝市

フリーマーケット

山下 武彦



が主催するものは今のところ見つかりませんでした。

そこで、本年度は「山口園朝市フリーマーケット」に協賛しました。これは、山口市南部の活性化を目的に主催は、同実行委員会、代表（三輪正明）、後援は、山口市・山口商工会議所・自治会連合会等で開催されたものです。十二月二十八日（日）午前八時から午後三時まで、山口南総合センター駐車場に、業者から個人まで百一店舗、百四十七区画に出店され、しめ縄など正月用品、新鮮な野菜、鮮魚類など販売されました。当日は、早朝より近隣の多くの家族連れで大変にぎわっていました。初めての試みでしたが、とにかく無事終了することができてほっとしています。関係者の皆様ご苦労様でした。

民生部会の活動は、今まで主に食の安全・食育に係る「地産地消」についての講習会や先進地研修視察に取り組んで来ました。また福祉関係については、「名田島地区地域福祉活動計画（三年計画）」に基づき、自治会活動になじむ「生活課題」を検討しましたが、社協など他団体の活動と重複するものが多く、自治会

しかし、今後の開催についての反省点はいろいろありました。開催時期と時間、来客者への会場案内図、出店者と一般来客の駐車場への誘導方

法、時間内に閉店する出店者への対応等、最大の課題は、今後地域の活性化にどの様に結びつけていくかです。

一つには、地元の出店者を如何に増やすかですが、各地で「朝市」は、定着してきていますが、新たに販売の場（機会）が一つ増えたし、朝市の会員以外の人でも気軽に出席できるというメリットも生かせると思います。

今回の開催で、得られた課題を今後の活動の糧とし、益々発展・活性化することを願っています。

民生部会は、相変わらず地道な活動を継続して行くことになりませんが、これからもご理解、ご指導をよろしく願っています。



土木部会

二十年度活動報告

中川 芳夫

二十年度の活動計画は、

一、十九年度に実施しました要望事項の未解決の検討を行い、行政に陳情すると同時に、新たな要望事項が発生する都度対応する。

二、環境整備・美化の推進として草刈り及び泥の除去を行い、今年度はモデルケースで集落全ての市道清掃を実施する。また、不法投棄防止看板の設置を進めていくことを計画致しました。計画に対しての実績は

一、十九年度に要望された事項の現場を確認し、再度要望する事項を検討致しました。

未解決内容については、出張所の協力を得て行政にお願い致しておりますが、予算の関係でなかなかハッキリした回答がもらえておりませんが、引き続き要望していきます。

また、十月二十三日には名田島自治会連合会として会長をはじめ、各部会の代表が要望を「県土木・市長に陳情訪問致しました。

県土木は、平成十七年に発

生した岩国市の災害復旧に全力をあげており、河川予算が二十一年まで取られているのが実情で、それまではバランスを取りながら対応されるということです。

県土木に対する要望事項

①名田島地区河川の内堤防工事の着手について
②西開作の榎野川の外堤防の改修について

③県道名田島秋穂線の安全対策として、島集落への歩道橋の設置、向山から上新栄橋の歩道の設置及び二車線化について

市に対する要望事項

①「中川」の河川改修工事について

②「幹線市道東開作昭和線」の道路改良工事の促進について

二、環境整備・美化の推進としては

①土木部会として河川公園・湯上中学校通学路地蔵院側・西開作から百間橋の間の土手の草刈りを行っています。

②各集落の「市道の管理区域」の明確化を行いました。これは、今まで集落で行われてきた田の廻りの草刈り、溝掘り等の区域を変更するものでなく、それ以外の、市道でありながらこの集



任期満了まであと少しではありますが、最後まで努力いたしますので、自治会会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

教育部会

第2次校舎耐震強度検査・大分国体視察

田中 敏昭

教育部会として、この一年を振り返って見ますと最初は防犯マップの作成です。

落が管理するのか不明確であった箇所を明確にして、担当される集落が市道の美化維持管理が目的で行いました。これに対し、美化維持管理（草刈り等）を実施された集落には、少額ですが補助金を交付いたしました。今後も集落の美化維持管理にご協力をお願い致します。

③「ゴミ不法投棄防止」の看板を作成しました。看板の内容は「ゴミの不法投棄は犯罪です」「ゴミのポイ捨てやめよう」「犬のフンは持ち帰ろう」の三種類です。まだ在庫がありますので、必要な集落は出張所にお申込下さい。

島小学校の児童（子供の目線）から見た危険な箇所はどこだろうかということ。小学校では以前から児童達と話し合い、よい資料を作っておられ、その資料を基に少しアレンジして作成しました。各戸に配布しましたので日常生活の中で、又、見守り隊活動等で活用していただけたらと思っております。小学校の皆さん有難うございました。

次に、小学校校舎の問題です。

建物について、市の教育委員会も存続すると言っておりますが、新築になるのか、補強になるかは決まっております。

昨秋に、建物に対する県の第2次耐震検査が実施され、県から市の建築課のほうに結果報告がなされているようです。

内容については知らされておりませんが、市の建築課ではこれに基づき、建物の基礎の耐震強度があるのかの検討に入っております。

結論がでるのは二月末か、三月の中頃になると思われます。今しばらくお待ち下さい。

次に、大分国体のバレーボール会場（別府市）に視察に行きました（参加者四十二名）。平成二十三年秋に山口で国体が開催され、当名田島では、南総合センターが成年女子バレーボール会場になります。

大分では、プラランターに各種の花を植え綺麗に飾っております。プラランターには、お世話をされた小学校の名前が記載されていきました。又、各県ごとに小学生・中学生が作成したと思われる応援の旗が立ててあり大変綺麗でした。会場には、年配の女



性が案内役をしておられ、大変好感の持てる姿勢でした。名田島地区でも、平成二十一年度には、花いっぱい運動の組織作りが行われると思います。

皆さんも積極的にボランティア活動に参加、盛り上げて下さいますようお願いいたします。

最後になりますが、通学路の防犯灯の増設も検討しております。

この一年大変お世話になりました。

防犯部会

西開作集落防災訓練の実施

中村 芳男

平成二十年度から、自治会連合会の防災部会として新た

に発足しましたが、昨年は心配した大きな台風もなく安心、安全な年でした。

当部会は年一回、地区の防災訓練を実施する申し合わせにより、今年度は、西開作集落にご協力を依頼し、八月三十一日に火災を想定した訓練を実施しました。訓練の内容は次のとおりです。

一、住民は西開作会館を避難拠点として

・火災情報伝達訓練（集落内、防災部会）・避難訓練・婦人会によるバケツ消火訓練・西開作私設消防団によるポンプ操作と放水訓練・自動体外式除細動器（AED）の取扱訓練・名田島消防団の訓練参加

二、防災部会は公民館を統制



拠点として

・全集落への火災情報伝達訓練・十三集落炊き出し班による避難食作りと避難住民への配食

火災を想定した本訓練は、

西開作の皆さんの統制のとれた臨場感あふれる訓練と防災委員を始め防犯、交通整理等関係団体のご協力も頂き、予定通り無事終了いたしました。本年、一月十二日どんどん焼き終了後、天ぷら油による火災を想定し、消火の講習会を実施いたしました。

今後とも地域の防災部会として、防災意識の高揚に努めていきたいと思っておりますのでご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



総務部会

「名田島地区地域づくり協議会」設立(案)の検討

宮崎 捷義

本年四月一日より、山口市「協働によるまちづくり推進方針」の一環として「名田島公民館」が名称を改め「名田島地域交流センター」として発足します。従来に増して地域づくりのために、各種団体や住民の活動拠点として門戸を広げるよう整備されます。

同方針に示すセンター改変と両輪の一軸をなす「地域づくり協議会」の設立を当地区でも検討しましたので報告します。昨年七月、事務局を名田島出張所として、九名の団体代表で構成する「名田島地域づくり協議会設立準備会」を設けました。

地域づくり協議会とは

各種団体の連携、協力により地域社会の維持、発展のために、自主的かつ継続的な活動を推進する組織です。

行政は、この活動に財政的支援(運営支援交付金、活動支援交付金、活動拠点の整備等)及び技術的支援(アドバイザー派遣、人材育成等)をします。

検討に当たっては、当地区の地域性を考慮した仕組みづくりに重点をおき、県内外の事例も視野にいれ検討し、結果を「名田島地域づくり協議会」設立案としてまとめました。

協議会は執行機関として役員会、活動組織として三つの部会をおく。生涯学習部会、健康福祉部会、そして生活環境部会。各部会はその活動内容からみて、関連する団体で編成され、部会内で計画したテーマを連携、協力して実行する。テーマによっては連携、協力体制を広げる。既に各種団体、住民の連携、協力のもとに実施されている「ふるさと祭り」、「地区民体育大会」も対象となる。決議機関としては総会、また会計監査のため監事をおく。事務局は交流センター内に設ける。今後、実施時期は各団体に協議をお願いいたしますが、この設立案が実現の日の目を見るかどうかは、ひとえに各種団体の合意にかかっています。報告会等を通じ十分内容を吟味されると共に、行政の支援団体の推移も勘案のうえ、結論を出されることを設立準備会としては期待します。

歴史探訪

南蛮樋物語②(完)

南蛮樋整備基本計画について

南蛮樋整備計画策定委員

藤山 光美

文化財は、歴史的・文化的・美的価値を保有することが主要な要件です。南蛮樋はこのような無形的価値のみでなく、地域の治水土木や一部が交通の要所としての実用的価値も有しています。

従って、整備計画の基本理念として、無形、有形価値の調和を謳った「地域に生き続ける開作(干拓)の歴史と景観の保存・活用」が掲げられ、この理念の下に基本計画の策定・検討が行われました。



本整備計画は、五年、十年、十五年にわたる息の長いものです。石垣の補修・復元やヘドロの浚渫などの遺構整備計画、見学動線・駐車場・休憩施設・標識などの施設計画、景観・植木・芝生などの修景・植栽計画、野外展示施設の整備や史跡ネットワークづくりなどの公開・活動計画、住民参加・協働による維持管理計画などからなる総合的な計画です。

整備後の想定イメージを図に示します。この図には植木などは描かれていませんが、公園に近い快適空間が出現する予定です。

本整備計画の遂行及び整備後の活用や維持管理などは、地域住民の皆様のご支援なしに実行不可能です。

ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

田園発行に寄せて

名田島出張所長 小野 悟

名田島地域の行事や活動に参加させていただき、皆様が地域や人を大事にされるお気持ちを感じております。

自治会連合会の月例会議・草刈・防災訓練・国体視察・田園朝市等にも喜んで参加させていただいております。

地域は人が創ります。山口市のすすめる協働のまちづくりの、手本となる地域だと思います。これからは皆様で地域課題の解決に取り組んでいただきたいと思います。